

たかしま観光ビジョン【概要版】

ビジョン策定の趣旨

本市にはメタセコイア並木など全国から注目を浴びている観光地をはじめ、人の営みから生まれた文化的景観など、たくさんの魅力ある資源が存在し、この資源を観光に活かした先人の努力もあり、年間 400 万人を迎える観光地として成長を遂げてきました。

また国内では、訪日外国人観光客の増加など観光産業が成長する一方、観光公害による課題が浮き彫りになることで持続可能な観光への意識が高まる中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、更には人々の価値観やライフスタイルの多様化が進むことで、旅行ニーズにも変化をもたらしたところです。

そのような中、国道 161 号の整備促進や北陸新幹線敦賀延伸など、本市を取り巻く環境の大きな変化を迎えるにあたり、これをチャンスと捉え、地域資源がより一層輝く観光施策を推進する上で、たかしまの観光が目指す将来像を明確に示し、多様な主体が一体となって取り組めるよう、「たかしま観光ビジョン」（以下、「本ビジョン」）を策定しました。

ビジョンの位置づけ・計画期間

本ビジョンは、本市の最上位計画である「高島市総合計画」の観光分野における個別計画として位置づけるものであり、滋賀県の「シガリズム※観光振興ビジョン」や第 2 期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（高島市デジタル田園都市国家構想総合戦略）との整合を図りながら推進し、計画期間を 2024 年度から 2033 年度の 10 年間とします。

年度														
2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
		第 2 次高島市総合計画 後期基本計画					第 3 次高島市総合計画(仮)							
				たかしま観光ビジョン(本ビジョン)										
		シガリズム観光振興ビジョン												
	第 2 期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略				高島市デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮)									

※ 滋賀の自然に触れ、滋賀に暮らす人々と出会い、交流することで、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体感できる、“心のリズムを整える新たなツーリズム”の総称。

将来像

ビジョンで目指す姿

～暮らす人・訪れる人が友^{とも}につなぐ たかしま～

本市は、奥山や里山、里湖の豊かな自然や景観、歴史に根差した街並み、多様な水辺の生活と食文化など、多種多様で貴重な資源が存在しており、これらは琵琶湖の存在とも調和しながら大切に守られてきました。加えてこれらの資源は地域経済に好循環をもたらす貴重な観光資源としても活かされ、過去から現在まで守り継がれてきたものであり、私たちはその価値を磨き上げ、魅力を伝えることで次世代へとつないでいきます。

また、暮らす人が地域の魅力を再認識し地域への誇りや愛着を深めることで、貴重な資源が未来へと継承されるとともに、訪れる人には地域の魅力が伝わり、ひいてはたかしまを支える人の裾野を広げることにつながります。

こうした観光を軸とした地域振興への取り組みを進めることにより、本市をいきかう人の流れを活発にし、観光業をはじめとする様々な産業への地域内循環を生み出し、持続可能な観光地域づくりを実現します。

本ビジョンでは、たかしまに暮らす人と訪れる人が、この豊かな観光資源の価値観を共有し、その魅力に心を寄せる友人や仲間を増やし、一緒になってたかしまを未来につないでいくことを、3つの視点を持って目指すものであり、その思いとして、～暮らす人・訪れる人が友^{とも}につなぐ たかしま～をビジョンコンセプトとして定めます。

目指す姿（ビジョンコンセプト）

～暮らす人・訪れる人が友^{とも}につなぐ たかしま～

3つの視点

たかしまが誇る
自然・景観・歴史文化を
未来へつなぐ

みんなが大切にする
観光地域へ
～たかしまファンの創出～

稼げる観光地域
づくりの実現

3つの視点

1 たかしまが誇る自然・景観・歴史文化を未来へつなぐ

本市の自然、景観、歴史文化は過去から現代に至るまで積み重ねてきたもので、その一つ一つがたかしまだけが持つ大きな魅力であり、観光地としての貴重な資源とすることができます。これら過去から受け継いだ貴重な資源を守り継ぎ、価値を磨き上げ、魅力を伝えることで未来につなげていきます。



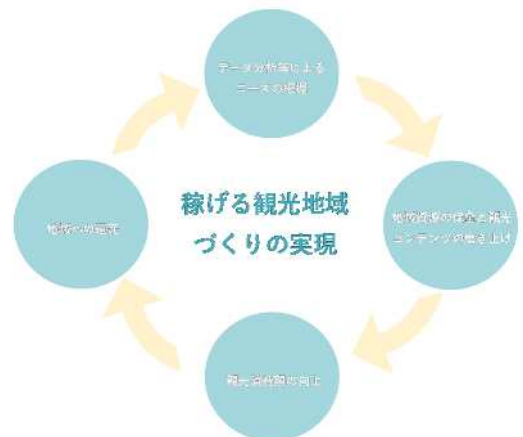
2 みんなが大切にする観光地域へ～たかしまファンの創出～



将来にわたって多くの人々から大切にされる観光地として成長するためには、事業者・関係団体、市民、行政がそれぞれの立場で、より良い観光地域づくりの一翼を担うことが求められます。たかしまに暮らす人が、本市の魅力再認識しシビックプライドを醸成し観光振興への理解と気運を高め、事業者・関係団体、市民、行政が一体となった、おもてなし力の向上を図ることで、本市への理解と愛着を持つたかしまファンを創出します。

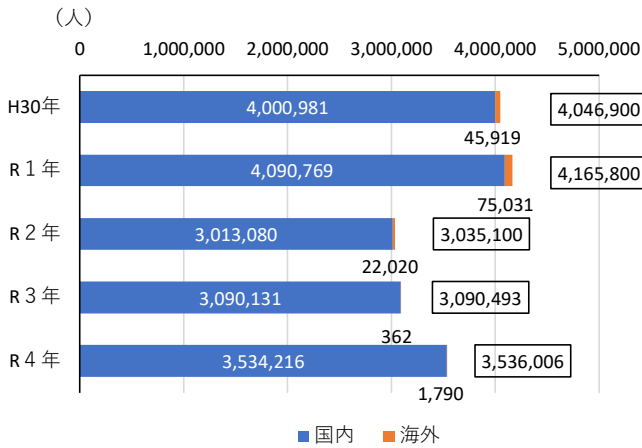
3 稼げる観光地域づくりの実現

観光ニーズに応じた魅力ある観光コンテンツの造成や磨き上げを行い、周遊促進と滞在時間の延伸による観光消費額の向上を目指し、その効果が観光業をはじめとするサービス業、製造業、農業、水産業など、様々な産業への地域内循環を生み出し、更には雇用の創出へとつなげることで、稼げる観光地域づくりを実現します。

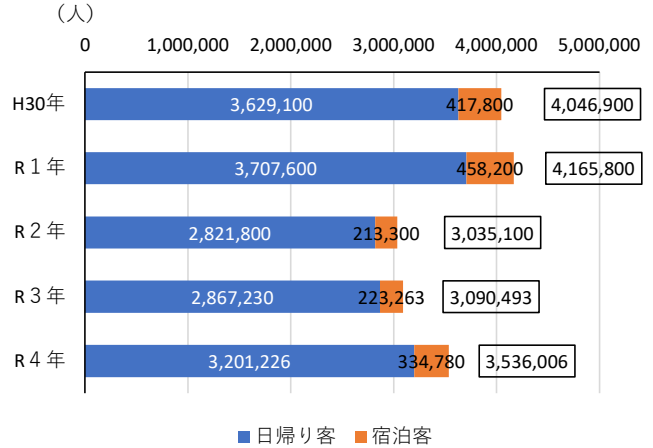


本市の現状

■本市における国内・海外観光客数の推移



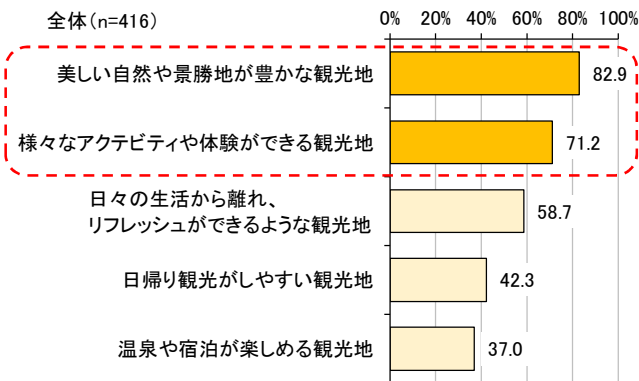
■本市における日帰り・宿泊観光客数の推移



資料：高島市資料

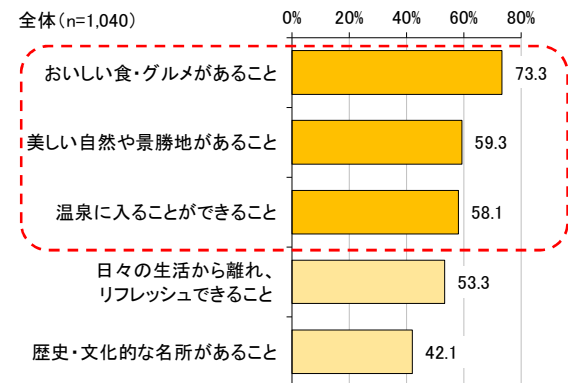
- 観光客数は新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、R1年を境に大きく減少しています。新型コロナウイルス感染症流行前は400万人台、流行以降は300万人台で推移しています。
- 新型コロナウイルス感染症流行以前は、外国人観光客数は増加傾向となっています。
- 観光客全体の約9割が日帰り客となっています。

■本市は、どのような強みを持った観光地を目指していくべきかと思うか



資料：令和4年度観光に関する市民アンケート

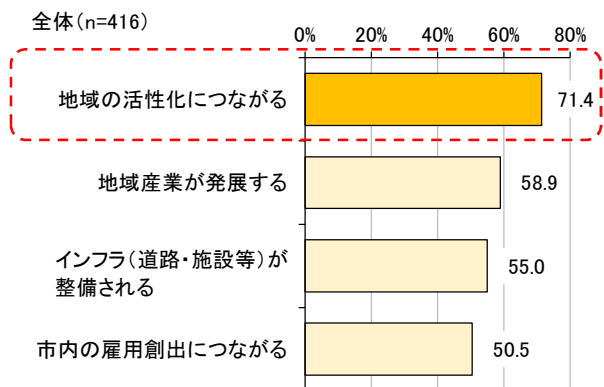
■旅行先で重視すること



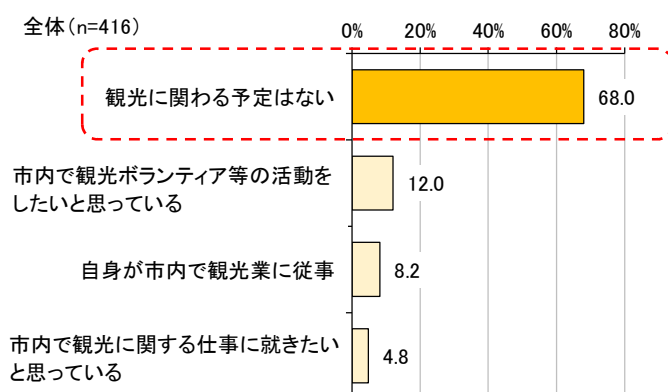
資料：令和4年度WEBアンケート調査

- 本市の目指すべき観光地像についてみると、「美しい自然や景勝地が豊かな観光地」「様々なアクティビティや体験ができる観光地」が高くなっています。
- 旅行先を選ぶときに重視することは、「おいしい食・グルメがあること」「美しい自然や景勝地があること」「温泉に入ることができること」となっています。

■観光客が訪れることによって生活に与える良い影響



■あなた、もしくは家族の観光への関わり



資料：令和4年度観光に関する市民アンケート

- 観光客来訪の市民生活への良い影響について、「地域の活性化につながる」が 71.4%となっています。
- 観光への関わりについて、「観光に関わる予定はない」が 68.0%となっています。

本市の観光に関する現状分析

本市の観光業を取り巻く現状を下記のとおり整理しました。

<強み>

本市が持っている有効な観光資源や特性

- ①豊かな自然環境
- ②豊かな自然景観
- ③豊かな自然環境で育まれた食材
- ④多様な歴史・文化資源、生活文化
- ⑤アウトドア系のアクティビティの充実
- ⑥人気観光スポットの存在
- ⑦京阪神からのアクセスの良さ
- ⑧リピーター率の高さ
- ⑨教育旅行・合宿の受け入れ
- ⑩自治体・団体等との連携

<機会>

観光振興を後押しするきっかけ

- ①ホテル開業やインフラ整備
- ②インバウンド需要の急速な回復
- ③大型イベントの開催
- ④「持続可能な観光」の推進
- ⑤地域ならではの観光コンテンツの推進
- ⑥シガリズムの推進
- ⑦滋賀県による北の近江振興プロジェクトの実施

<弱み>

本市に不足しているもの

- ①オーバーツーリズムへの対策が不十分
- ②市内滞在時間が短い
- ③観光振興に対する市民理解が低い
- ④受け入れ体制の整備不足
- ⑤観光消費額が低い
- ⑥観光人材の不足と育成
- ⑦観光需要の特定時期への偏在
- ⑧情報発信力の不足
- ⑨観光地の点在
- ⑩観光統計等データの収集不足

<脅威>

観光振興に不利な条件

- ①日本人の国内旅行市場の減少
- ②観光DXへの対応
- ③旅行ニーズの多様化
- ④担い手不足による自然・景観・地域運営の維持
- ⑤個人が発信する多くの情報の整理

取り組みの方向性・基本方針

基本方針 1



価値ある資源を最大限に活かす取り組みを進めます

本市の強みである自然、景観、歴史文化等の魅力ある資源を活かした観光コンテンツに磨きをかけ、人気観光スポットを起点とした市内周遊の促進と、近隣府県からのアクセスの良さを活かした広域周遊促進など、様々な観光客を惹きつける魅力的な観光地域づくりに取り組みます。

(1) たかしまが誇る資源を活かした観光コンテンツの提供

- たかしまの歴史や生活文化に触れる旅の提案
- たかしまの食を堪能できるコンテンツ造成
- 製作体験、酒蔵見学など、深みのある体験型コンテンツの拡充
- 琵琶湖と森林を活かしたアクティビティの拡充
- シガリズムを体感できるコンテンツの充実

(2) 人気観光スポットを起点とした市内周遊の促進

- 人気観光スポットを起点としたコンテンツの造成
- 市内周遊の促進に向けた観光情報発信ツールの設置
- 観光地間での連携強化

(3) 魅力ある広域観光の推進

- 近隣地域との歴史・文化的なつながりを活かした地域の活性化
- 北陸新幹線敦賀延伸を契機とした福井嶺南地域との連携強化
- 湖西線利用による京阪神地域からの周遊広域観光促進
- 友好都市や姉妹都市との交流を通じたPRの促進
- ビワイチを通じた県内、市内周遊の促進

基本方針 2



観光地に必要な機能強化を図ります

本市の認知度向上に向けた情報発信力の強化を図るとともに、継続的なマーケティング調査による観光統計の整備と活用、データに基づく戦略的なプロモーションに取り組みます。また、平日観光の推進に向けた取り組みや、観光客の市内滞在時間の延伸に向けた取り組みを強化し、観光消費額の向上を図ります。

(1) 国内外に向けた情報発信の強化

- 海外旅行代理店等へのプロモーションを通じた訪日旅行者の誘致促進
- WEB広告（SNS、YouTube）等を活用したプッシュ型の情報発信の強化
- キービジュアルを用いた認知度及びイメージ向上に関する取り組み
- 観光案内の拠点設置や観光施設での情報発信機能の充実
- 大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ、国体等の大型イベントでの情報発信

(2) 滞在時間の延長と観光消費額の向上

- 平日観光の推進に向けた訪日外国人旅行者の誘客促進
- 早朝や夜間の観光の推進などによる宿泊率の向上
- 観光アプリや情報発信ツールの強化による旅ナカ情報の発信
- 道の駅等の施設と連携した特産品の販売力強化やブランド化の推進
- 点在している観光地のエリア分け等による周遊ルートの集約化

(3) 継続的なマーケティング調査による観光統計の整備と活用

- 観光に関する統計データの収集
- 統計データの可視化と各種情報の共有
- 各種データを活用した新たな事業の実施

基本方針3



時代のニーズを捉え個性を磨きます

たかしまの独自性を伸ばすことで、「第2のふるさと」として何度も訪問してもらう関係づくりに取り組みます。また、教育旅行や合宿等の団体客の受け入れ強化を図るとともに、マーケティングの視点を取り入れ、個性を活かした観光コンテンツの提供を通じて、満足度の向上に取り組みます。

(1) 第2のふるさとづくり

- 歴史ある街並みや風情を感じるまち歩き等の提案
- 鉄道や湖上交通、サイクリングなど交通手段で異なる観光の楽しみ方の提案
- 四季の魅力を楽しむ旅の提案
- 祭りや行事などの地域の活動に参画する仕組みづくり

(2) 教育旅行・合宿などの団体客受け入れ強化活動

- 市内外の学校や団体に向けた教育旅行や合宿の誘致
- 市内外の民間企業に向けた研修会の誘致
- 「MLGs」を学べるプログラムの造成による教育旅行の誘致

(3) 多様な主体が催すたかしま活性化事業の推進

- 既存イベントとの連携強化
- 地域振興につながるイベントの誘致

基本方針4



盤石な受け入れ体制を構築します

多様化する旅行ニーズへの対応など、国内旅行市場を取り巻く環境に適応し、快適な旅行を満喫できる受け入れ体制の整備を進めるとともに、観光業を支える人材の確保や、本市の魅力である自然・景観を保全していくことが益々厳しい課題となることを踏まえ、市民の観光振興への関心と理解を深めていきます。

(1) 観光客を受け入れる環境の整備

- ストレスフリー・バリアフリーで快適な旅行環境の整備
- 交通情報の見える化の推進、MaaS対応の検討
- 駅からの移動手段の確保に向けた取り組みの推進
- 弾力的な受け入れ体制の検討
- 地域DMOの設立に向けた検討

(2) 観光人材の確保・育成

- 観光DXを活用した観光産業の生産性の向上
- 観光DXに関わる取り組みをリードできる人材確保の支援
- 観光に関わる人材の発掘と育成

(3) 愛着や誇りの醸成による地域資源の保全

- 市民向けの市内観光に関する講座・イベント等の開催や人材発掘・育成
- 学校教育における郷土愛の醸成
- 市民向け観光イベントの開催

推進体制

1 各主体の役割

事業者・関係団体の役割

- 事業者・各団体の強みを活かしたサービスを提供します。
- 市全体で観光振興に取り組むため、事業者間での連携強化や情報共有を図ります。
- 市内周遊を促進するため、観光客に対して積極的な市内情報の発信を行います。

市民のみなさんの役割

- 本市の魅力を再認識し、地域を誇りに思い、資源を保全します。
- 市民活動や観光に関するイベントに積極的に参加し、観光についての理解を深め、自信を持って地域の魅力を発信します。
- 観光客を温かく迎え入れることでたかしまファンを増やします。

行政の役割

- 様々な主体と連携して、観光による地域活性化を推進します。
- 観光客に満足していただける受け入れ環境の整備を推進します。
- エリアにとらわれない広域での連携、協力を推進します。

2 数値目標

①本市が誇る自然・景観・歴史文化を未来へつなぐため、地域保全の活動をしている団体数を維持します。

☆評価指標：地域保全の活動をしている団体数



②本市をまた訪れたいと考える方々を増やすことで、たかしまファンを創出していきます。

☆評価指標：再訪意向



③本市への観光入込客数を増やすことで、観光業をはじめとする様々な産業への地域内循環を生み出し地域活性化につなげていきます。

☆評価指標：(1) 日帰り観光入込客数



(2) 宿泊観光入込客数



たかしま観光ビジョン 【概要版】

作成：令和6年3月

発行：高島市 商工観光部 観光振興課

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地

TEL：0740-25-8040 FAX：0740-25-8156